PayPay

決算説明資料

Q2
2026

免責事項

将来見通しおよび連結業績予想に関する注意事項

本プレゼンテーションには、1933年米国証券法（その後の改正を含みます。）第27A条および1934年米国証券取引所法（その後の改正を含みます。）第21E条の規定の範囲内において、リスクおよび不確実性を伴う将来見通しに関する記述が含まれています。将来見通しに関する記述は、一般に将来の事象、または将来の財務若しくは営業成績に関連するものです。これらの記述は、場合により、「期待」、「予想」、「予測」、「意図」、「計画」、「可能性」、「～し得る」、「～する予定である」、「～する見通しである」、「予期する」、「～できる可能性がある」、「～であろう」、「目標」、「投影」、「想定」、「信じる」、「見積もる」、「予見する」、「潜在的」、「目的」、「目標」、「追求する」、または「継続する」、ならびにこれらの用語の否定形、またはその他類似の表現によって識別できる場合があります。本プレゼンテーションにおける将来見通しに関する記述には、通期および四半期の収益および調整後EBITDAを含む当社の将来の営業成績または財務実績に関する期待、特定の主要な財務・営業指標に関する期待、将来の製品開発計画を含む当社の事業および成長戦略、市場機会、新たに提供を開始した製品およびイノベーションの業績、当社の技術的能力、当社の製品およびサービスに対する需要、将来の成長および加速に関する当社の期待および管理、ならびに当社の業界および伝統的な銀行に関する期待、およびこれらに関連する仮定が含まれますが、これらに限定されません。これらの記述には既知または未知のリスク、不確実性、およびその他の重要な要因が含まれており、当社の実際の業績、成果、または実績が、将来見通しに関する記述によって明示または暗示された将来の業績、成果、または実績と著しく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性には、次に掲げるような事項に関連するリスクが含まれます。成長を効果的に管理する能力、新規ユーザーの獲得、アクティブユーザーの維持、およびアクティブユーザーとの関係性の深化、当社サービスを利用する新規加盟店の獲得、既存加盟店との関係強化、および決済事業における取引量の拡大、コード決済サービスとクレジットカード決済サービスの相乗効果の維持および拡大、当社プラットフォームのエコシステム効果の維持および強化、当社の連結子会社および持分法適用関連会社の株主との提携関係、日本におけるキャッシュレス決済業界およびデジタル金融サービス業界の拡大および発展の変化、価格戦略の実施およびサービスラインナップの拡充能力、強固で信頼されるブランドの維持、保護、および強化、技術インフラの維持または改善能力、当社の事業および銀行エコシステムに適用される複雑かつ進化を続ける法令および規制等を含みます。これらのリスクおよび当社の財務成績に影響を及ぼし得るその他の要因に関する追加情報は、当社が米国証券取引委員会に提出した書類（当社のIPO目論見書を含みます。）に記載されています。当社の連結業績予想および目標に関する記述は将来見通しであり、実際の業績が予測と著しく異なる原因となり得る既知または未知のリスクおよび不確実性を伴います。また、新たなリスクや不確実性は随時発生するものであり、本プレゼンテーションに含まれる将来見通しに関する記述に影響を及ぼし得るすべてのリスクおよび不確実性を当社が予測することは不可能です。これらの将来見通しに関する記述は、本プレゼンテーションの日付時点における将来の事象に関する当社の見解を反映したものであり、仮定に基づき、リスクおよび不確実性を内包しています。これらの不確実性を考慮し、将来見通しに関する記述に過度な依拠をすることはお控えください。当社の財務結果に影響を及ぼし得るこれらのリスクおよびその他の要因に関する詳細は、当社の規制当局への提出書類および定期報告書に記載されております。法律で義務付けられている場合を除き、当社は、本プレゼンテーションの日付以降、新しい情報や将来の事象等の結果として将来見通しに関する記述を更新する義務を負うものではありません。

非IFRS財務指標および主要な指標

本プレゼンテーションには、国際会計基準審議会（IASB）が発行した国際財務報告基準（以下「IFRS」）に従って作成された財務情報が含まれています。また、本プレゼンテーションには非IFRS財務情報も含まれておりますが、これらはIFRSに従って算出された財務指標を補完するものであり、代替となるものや、より優れたものとして検討されるべきではありません。本プレゼンテーションに含まれる非IFRS財務指標には、調整後EBITDAおよび調整後EBITDAマージンが含まれます。当社は、営業費用の管理や内部資源の配分を含む戦略的意思決定、予算および予測の作成、事業計画の策定、ならびに営業成績の評価において、IFRS指標と併せてこれらの非IFRS財務指標を使用しております。当社は、これらの非IFRS財務指標が投資家、アナリスト、およびその他の関係者に対し、当社の事業および財務実績に関する有用な情報を提供し、当社の業績に対する全体的な理解を深めるとともに、各期間における財務実績の一貫性のある比較可能な概観を提供する一助となると確信しています。

これらの非IFRS財務指標およびそれらに対応する最も直接的に比較可能なIFRS指標の使用には、多くの制限があります。例えば、当社による非IFRS財務指標の定義は、他社が使用する非IFRS財務指標とは異なる場合があります 。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、本プレゼンテーションに添付された財務表をご参照ください。ただし、非IFRS指標から除外される項目の金額や発生時期の予測が困難であるため、合理的な努力の範囲内では、特定の非IFRS財務見通し指標に対応するIFRS指標への調整を、将来見通しに基づいて提供することはできません。前述の事項にかかわらず、調整項目に重大な変更が生じた場合、将来のIFRS業績に大きな影響を及ぼす可能性があることに留意することが重要です。さらに、本プレゼンテーションには、当社の営業成績の評価、事業計画の策定、および戦略的意思決定を行うために使用している主要な営業指標が含まれております。

未監査の財務情報

本プレゼンテーションに記載されている各期間の財務情報は未監査であり、当社の管理上の数値に基づいていることにご留意ください。

業界および市場データ

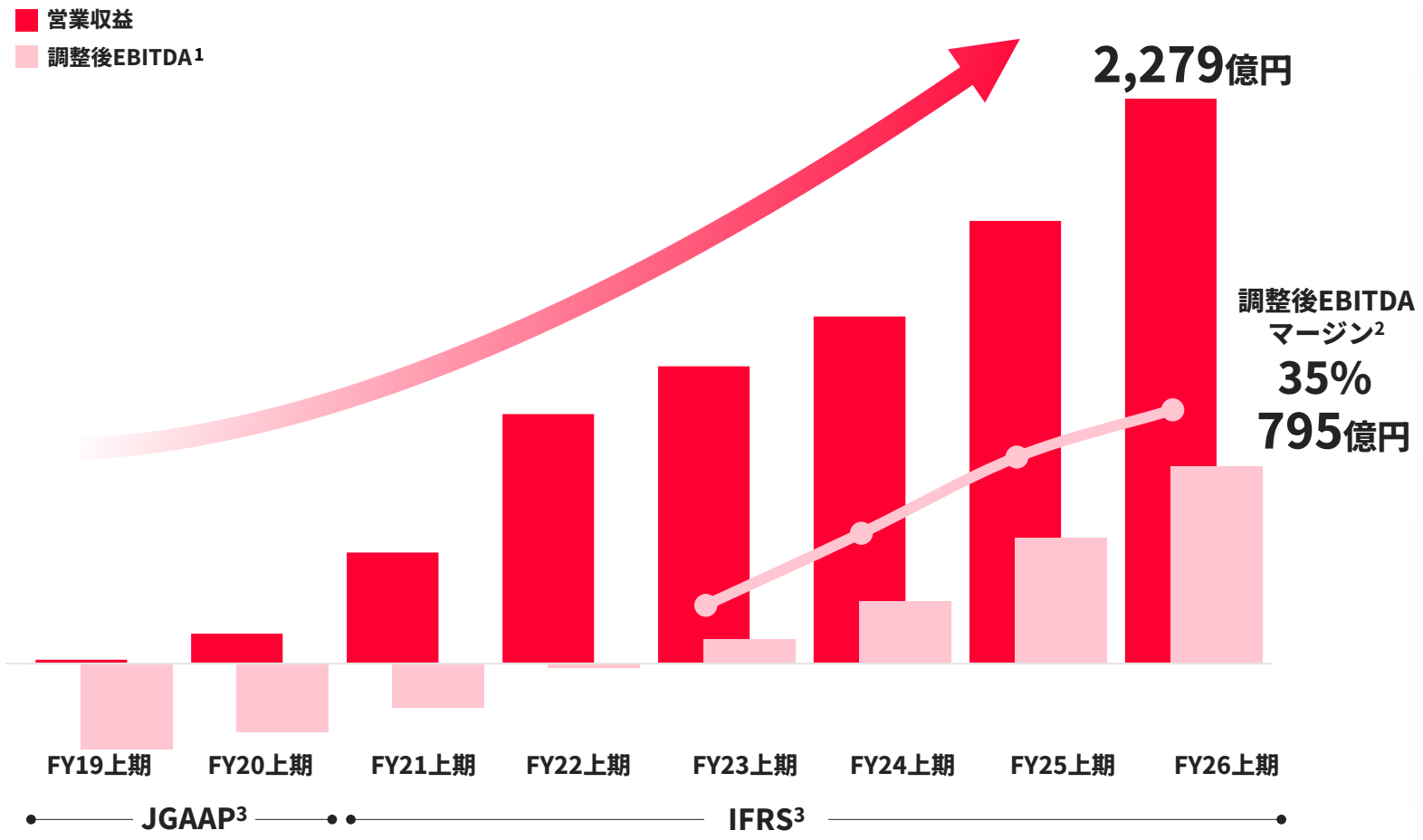
本プレゼンテーションには、第三者機関から引用した情報、推定値、およびその他の統計データが含まれている場合があります 。当社は、これらの情報が当該記述の合理的な根拠になると判断していますが、これらの情報は限定的または不完全である可能性があり、当社が独自に当該データの正確性を検証したものではありません。



PayPay

事業ハイライト

成長の軌跡



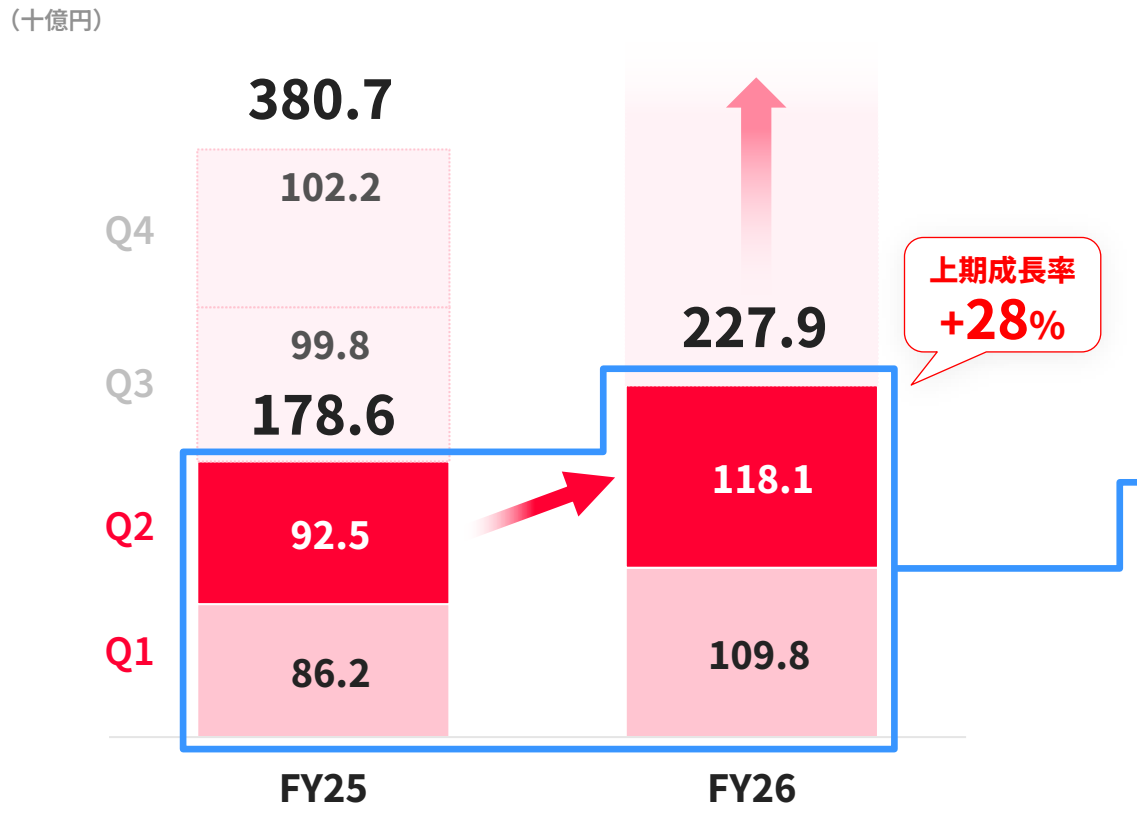
7期連続
増収増益

通期業績予想を
上方修正

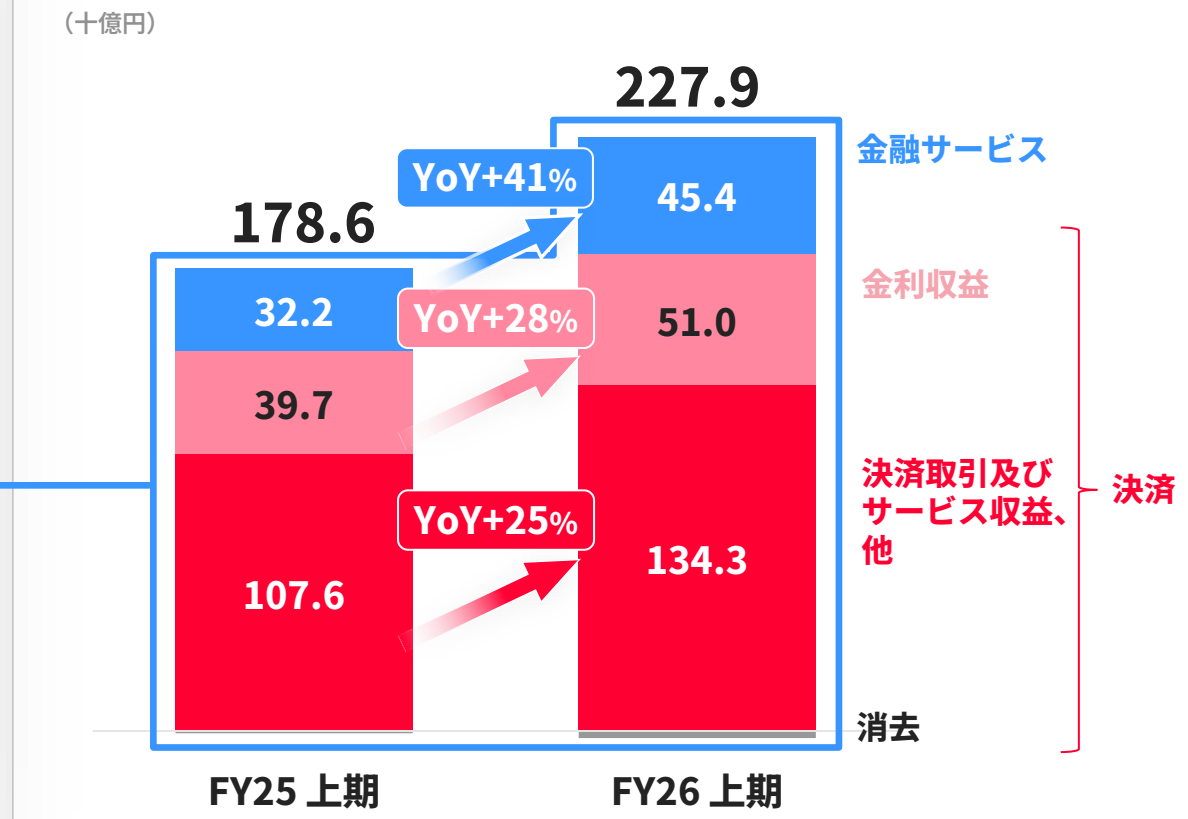
1. 調整後EBITDA、調整後EBITDAマージンは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください
2. 対営業収益の比率
3. FY2019～FY2020：PayPay㈱単体の日本基準（JGAAP）数値。FY2021：PayPay㈱、PayPayカード㈱の連結数値（IFRS）。FY2022以降：PayPay㈱、PayPayカード㈱、PayPay銀行㈱およびPayPay証券㈱を主要とする連結数値（IFRS）

連結業績の概要

営業収益

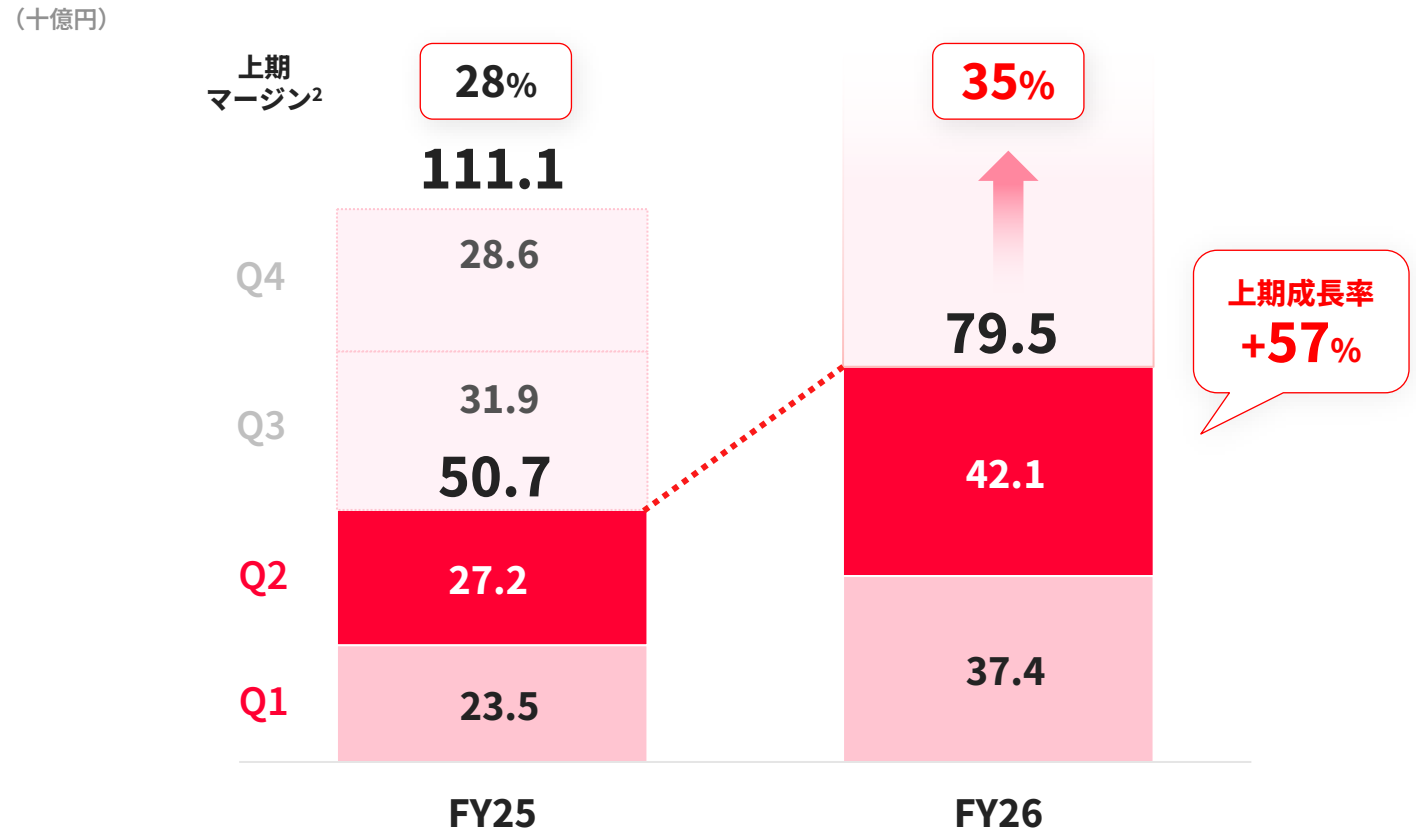


セグメント別営業収益（上期累計）



連結業績の概要

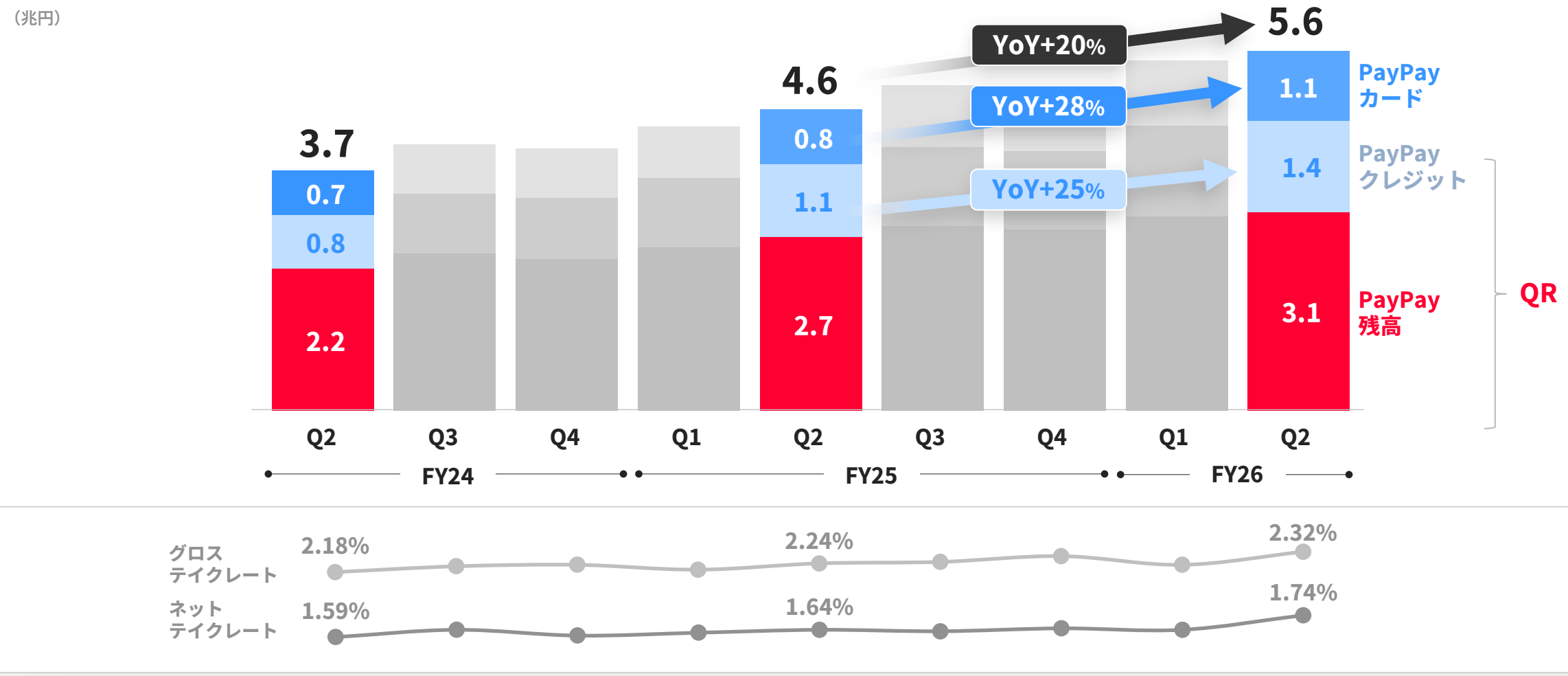
調整後EBITDA[1]



引き続き
収益性が向上

1. 調整後EBITDA、調整後EBITDAマージンは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください
2. 対営業収益の比率

事業KPI｜決済セグメントGMV



PayPay

ガイダンス

FY2026業績予想

（十億円）	FY26 Q3	FY26 通期
営業収益	121 – 123	474 – 478 （Q1発表時：465– 473）
調整後EBITDA[1]	41.5 – 43.5	159.0 – 163.0 （Q1発表時： 149.0 – 155.0）

1. 調整後EBITDAは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください



今後の成長に向けて

ユーザーの生活に根付く圧倒的なポジション

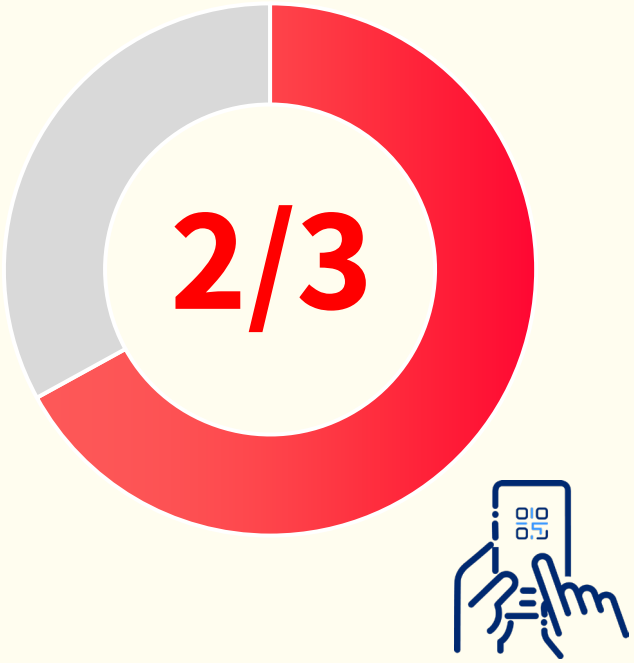
決済金額シェア[1]

日々の消費を幅広く支える



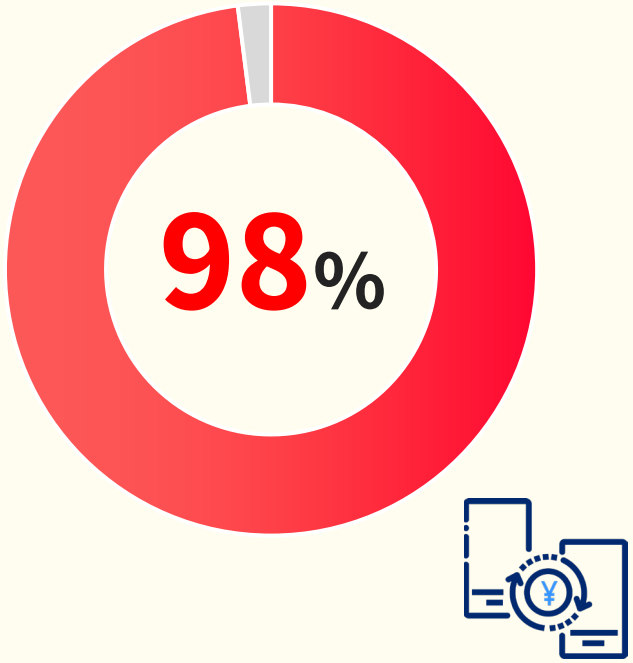
決済回数シェア[1]

日々の支払いで使われる



送金シェア[1]

身近な人と送り合う



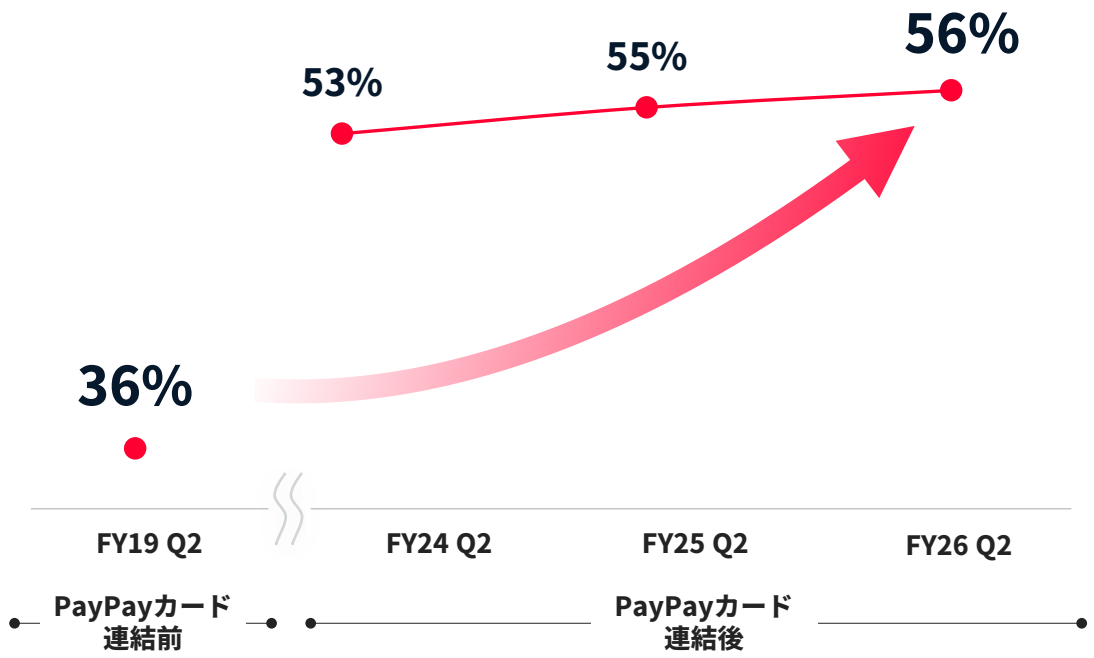
1. 一般社団法人キャッシュレス推進協議会「コード決済利用動向調査（2026年10月30日公表、2026年4－6月期）」


決済の幹の太さが
金融に派生する
PayPay
PayPay カード
利用拡大中
PayPay 銀行
利用・残高の拡大へ
PayPay 証券
資産形成の成長領域
大量の決済トランザクションが毎日流入


PayPay
決済 | 高頻度な入口
成長拡大中
PayPay 証券
商品・機能を拡充し、利用深化へ
成長拡大中
PayPay 銀行
顧客獲得から、利用・残高の拡大へ
実績が伴う成長事業
PayPay カード
決済接点を起点に、利用・収益が拡大
利用頻度が高い決済から
段階的に拡張

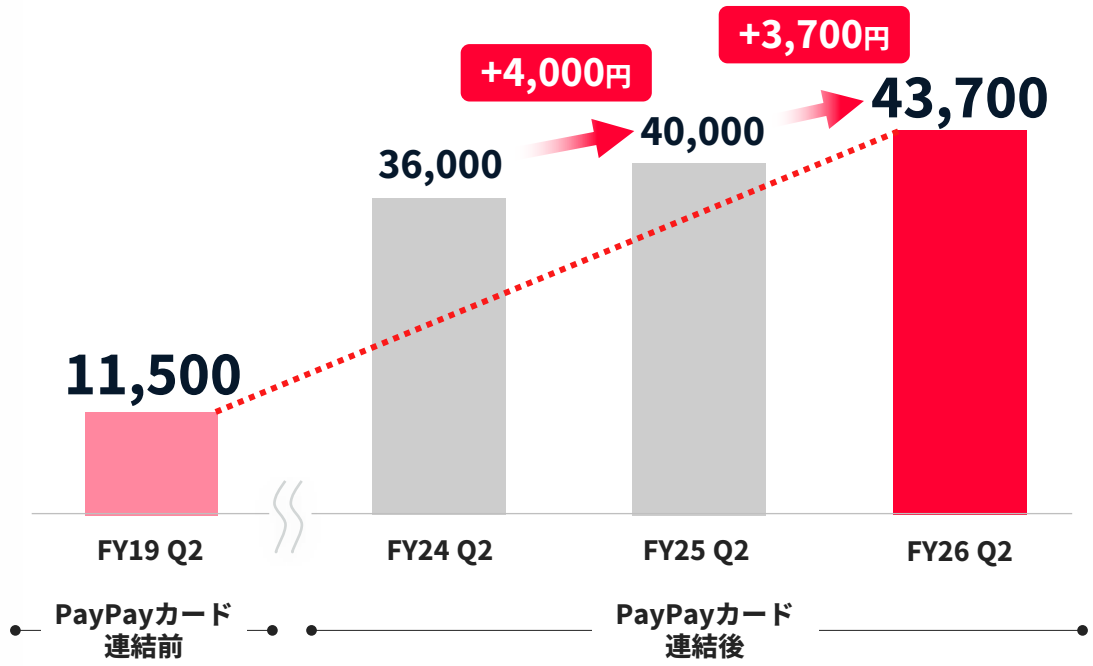
日常生活への浸透が進み、1人当たり月間決済額は約4倍

アクティブ率（月間取引ユーザー数/登録ユーザー数）



ユーザーあたり月間決済金額

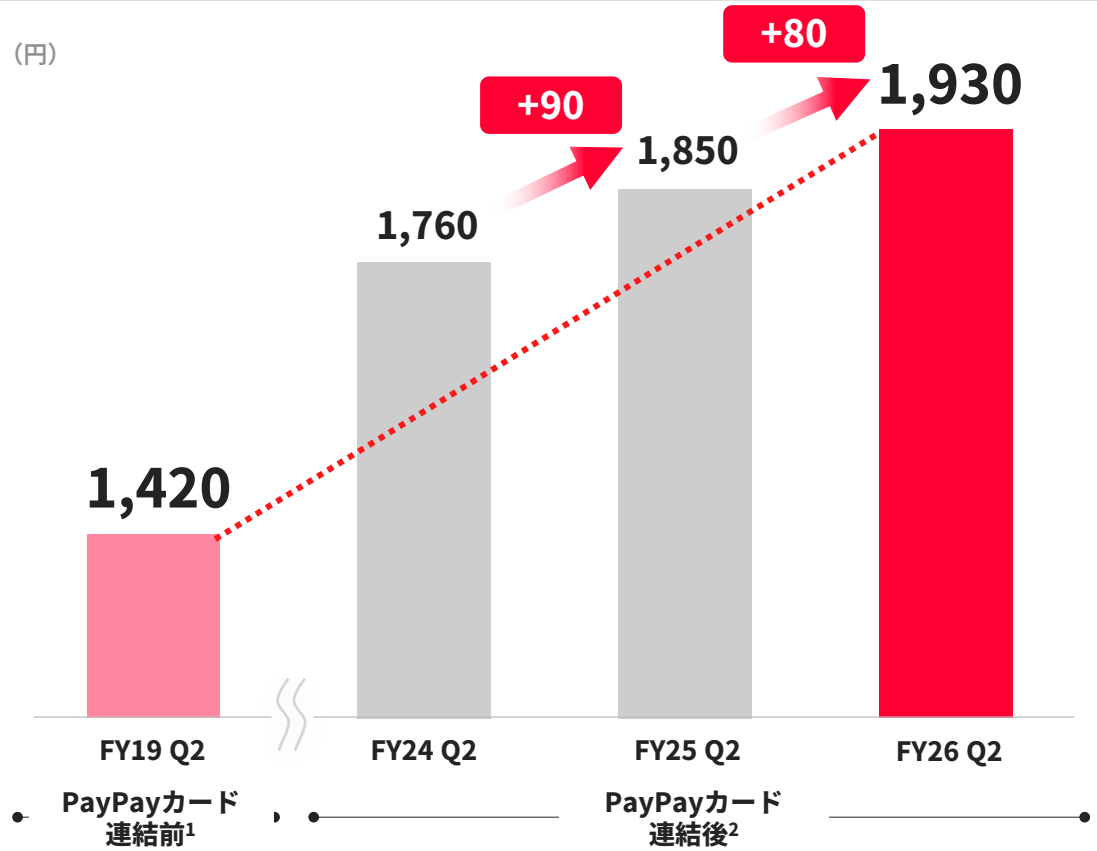
（円、四半期平均）



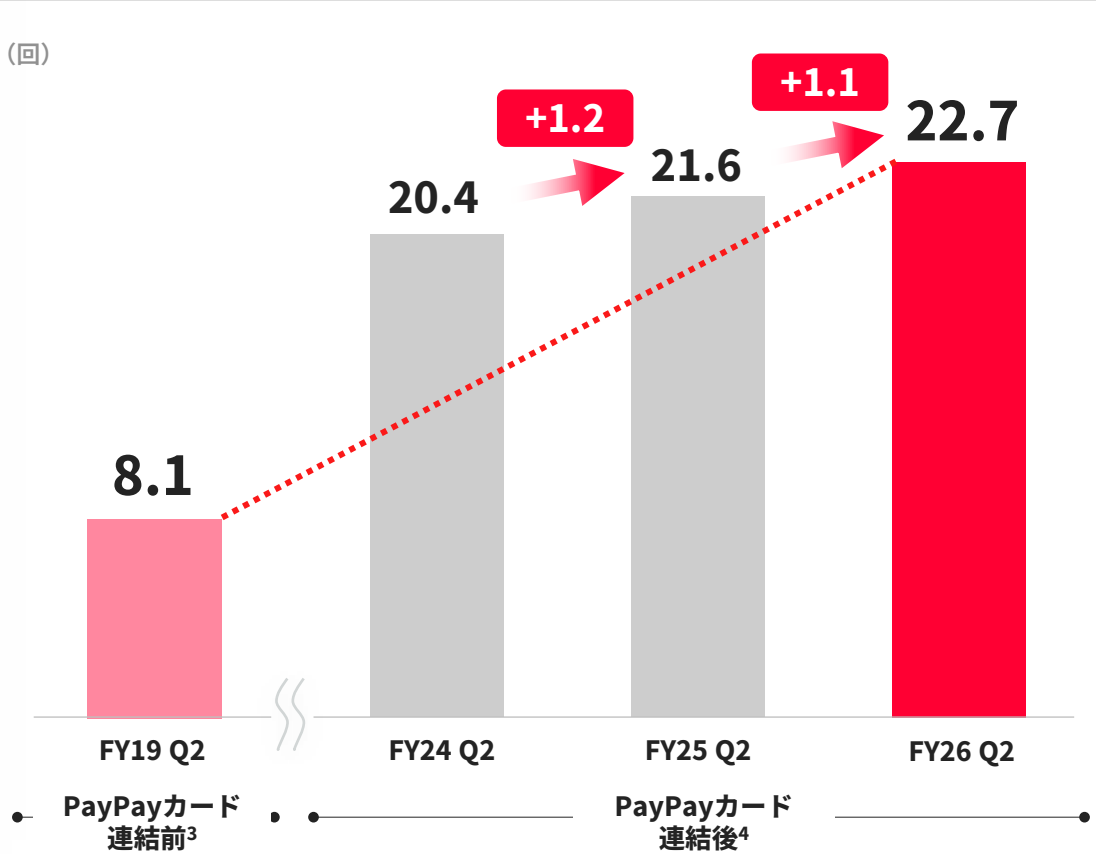
1. 各対象期間の最終月におけるPayPay MTUを、各対象期間末時点のPayPay登録ユーザー数で除して算出
2. PayPay残高の四半期累計GMV合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出
3. PayPay残高、PayPayクレジットおよびPayPayカードの四半期累計GMV合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出

ユーザーあたり決済金額・頻度が着実に拡大

決済単価



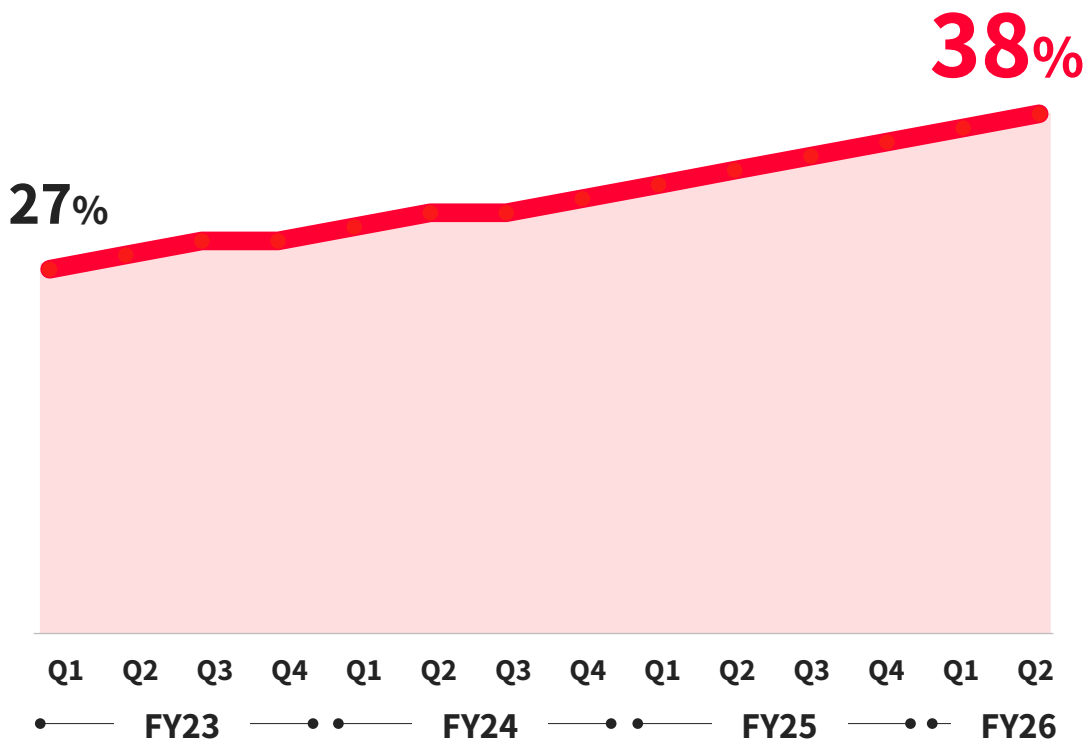
ユーザーあたり月間決済頻度



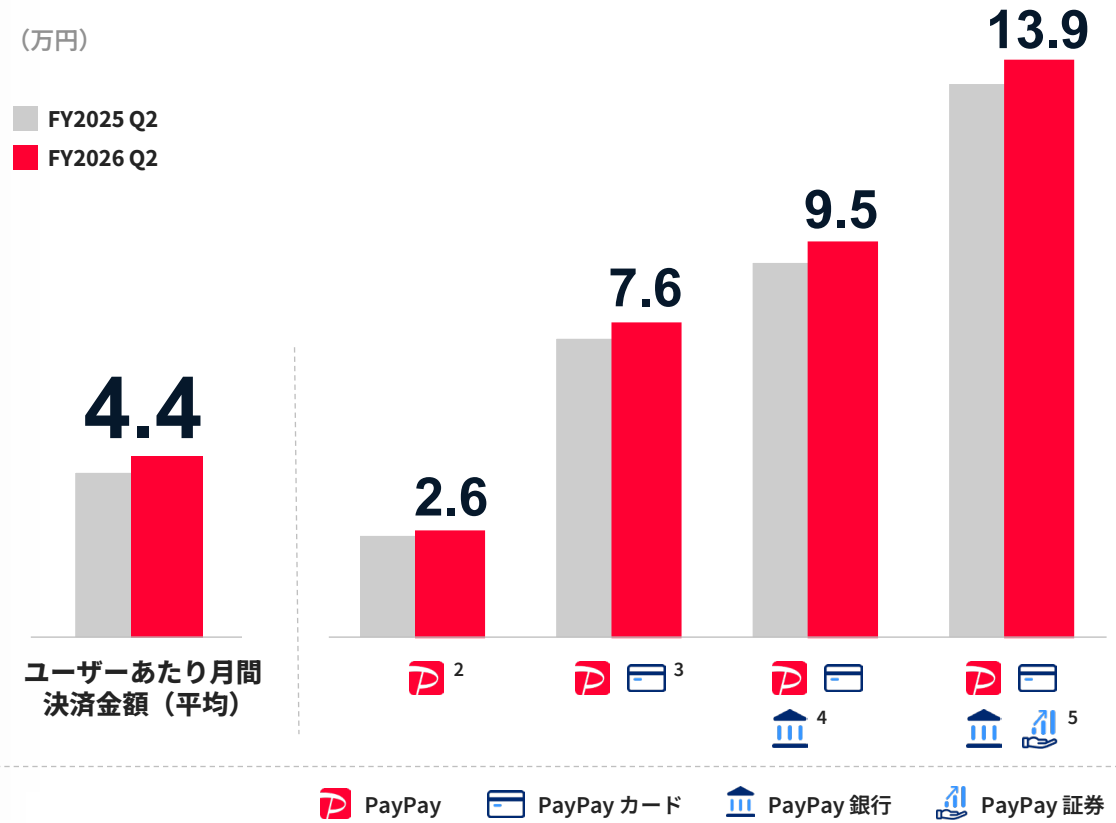
1. PayPay残高の四半期累計GMVを、PayPay残高の四半期累計の取引回数で除して算出
2. PayPay残高、PayPayクレジット、PayPayカードの四半期累計GMV（決済セグメントGMV）を、PayPay残高の四半期累計の取引回数で除して算出
3. PayPay残高の四半期累計取引回数合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出
4. PayPay残高、PayPayクレジットおよびPayPayカードの四半期累計取引回数合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出

成長する決済を起点に、クロスユースが拡大

2つ以上のサービスを利用するユーザーの割合[1]



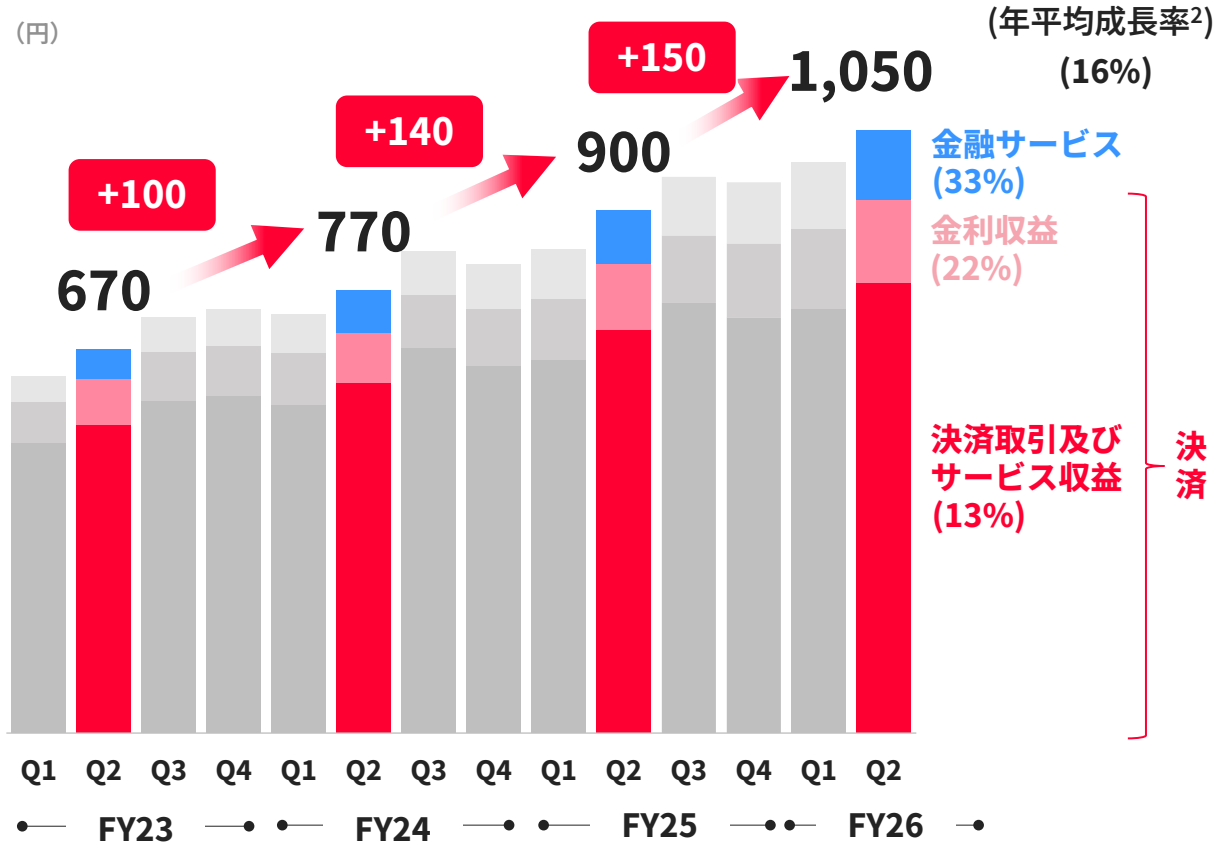
ユーザーあたり月間決済金額



1. 各四半期末月時点のPayPay MTUに占める2つ以上のサービス利用するユーザーの割合。「2つ以上のサービスを利用するユーザー」とは、当該時点においてPayPayアプリと、 PayPayカード、またはPayPay銀行、もしくはPayPay証券の口座を連携し、データ連携に同意したユーザー数に基づいて算出。
2. PayPayのみ： PayPayアプリ内でPayPay残高による決済のみを利用するユーザーの月間平均GMV。PayPayカードを利用したPayPay残高へのチャージは含まない
3. ＋PayPayカード： PayPayアプリ内で取引を行うユーザーの中でさらに、PayPayカードを保有するユーザーの月間平均GMV。この区分では、PayPay銀行およびPayPay証券のサービス利用は非考慮
4. ＋PayPay銀行： 「＋PayPayカード」のユーザーの中でさらに、PayPay銀行の口座を保有するユーザーの月間平均GMV。この区分では、PayPay証券のサービス利用は非考慮
5. ＋PayPay証券： 上記のユーザーの中でさらに、PayPay証券の口座を保有するユーザーの月間平均GMV
6. 注： 注3～5の区分の数値は、PayPayアプリとPayPayカード、PayPay銀行口座、PayPay証券口座を連携し、データ連携に同意したユーザー数に基づいて算出。千円単位で四捨五入。

ARPUは決済を入口に継続拡大

ARPU[1] 管理会計



ARPUを伸ばす3つのドライバー

03 銀行・証券の利用深化
稼働口座・預金・AUMの積み上げ — POTENTIAL

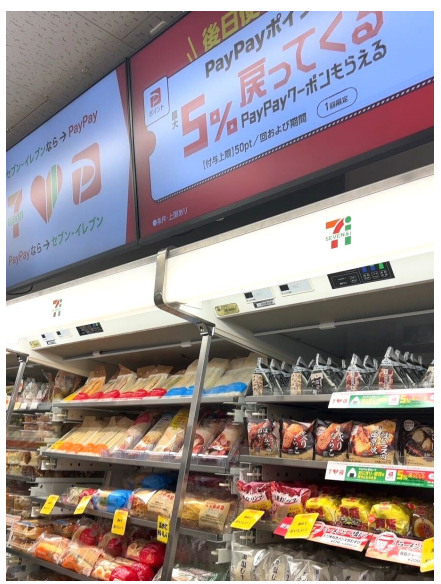
02 クレジットへの転換
稼働・利用額・金融関連残高の拡大 — SCALING

01 日常決済の利用深化
決済回数・月間GMV / 人の増加 — NOW

1. ARPUは、PayPay MTUを分母とし、PayPayユーザーによる当社グループのサービス利用拡大に伴う控除前営業収益を分子として算出する、管理会計に基づく当社独自の営業指標です
   法人向けサービスに由来する営業収益を中心に、PayPayユーザーの利用拡大に直接連動しない営業収益は原則として除外しています。記載のARPUおよびその変動額は、いずれも10円単位に四捨五入した概数です
2. FY2023Q2からFY2026Q2のCAGR

事業提携・出資の進捗

セブン＆アイ・ホールディングスとの提携



2026年11月
共同キャンペーン開始

2027年度下期以降
ID統合による本格展開開始

T&Dフィナンシャル生命への出資

来秋に向け
進捗は順調

2026年度下期
PMI推進委員会設立
IFRS対応

2027年10月
クロージング予定

Appendix

Non-IFRS財務指標および調整表

調整後EBITDA／調整後EBITDAマージン

（百万円）	FY2025 Q2	FY2026 Q2
純利益	73,220	18,440
法人所得税	△52,790	10,114
持分法による投資損失	58	4,618
減価償却費及び償却費	5,755	6,196
株式に基づく報酬に係る費用	-	233
契約獲得コストの償却費	411	562
固定資産除売却損	174	1,524
上場関連費用	441	-
M&A関連費用	35	572
全社借入金および金融資産に関連する純利息費用（△は収益）	△124	△185
調整後EBITDA	27,180	42,074
営業収益	92,478	118,115
調整後EBITDAマージン	29%	36%

用語集

決済セグメントGMV	PayPay残高GMV、PayPayクレジットGMV、PayPayカードGMVの総額。ただし、中止された取引のGMVは除く
PayPayアプリGMV（またはQR GMV）	PayPay残高GMV、PayPayクレジットGMVの総額。ただし、中止された取引のGMVは除く
PayPay残高GMV	PayPay残高、PayPayデビット、PayPay残高カード、PayPayアプリに連携されたその他のクレジットカードによる決済およびAlipay+やHIVEX®等の他の決済サービス・ネットワークを通じたPayPayコード決済による決済のGMVを指す。ただし、PayPayカードによるPayPay残高へのチャージおよび中止された取引に係るGMVは除く
PayPayクレジットGMV	PayPayクレジットを利用した決済、PayPayカードによるPayPay残高へのチャージおよびPayPayアカウントを連携せずにPayPayカードをPayPayアプリに連携して行われた決済のGMVを指す。ただし、中止された取引に係るGMVは除く
PayPayカードGMV	PayPayカード（物理カード）を使用した決済のGMVを指す。ただし、PayPayカードによるPayPay残高へのチャージおよび中止された取引に係るGMVは除く
（ネット）テイクレート	決済セグメントの営業収益÷決済セグメントGMV
グロステイクレート	決済セグメントの控除前営業収益÷決済セグメントGMV
PayPay MTU（月間取引ユーザー数）	PayPay残高GMVまたはPayPayクレジットGMVに寄与する決済を、月間で少なくとも1回行ったユニークユーザー数。ただし、P2P（個人間送金）および中止された取引を除く。四半期または年次ベースのPayPay MTUは、当該期間の最終月の数値を示す
アクティブ率	各対象期間の最終月におけるPayPay MTUを、各対象期間末時点のPayPay登録ユーザー数で除して算出
PayPay MTUあたり決済セグメント月間GMV	PayPay残高、PayPayクレジットおよびPayPayカードの四半期累計GMV合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出
PayPay MTUあたり決済セグメント月間決済回数	PayPay残高、PayPayクレジットおよびPayPayカードの四半期累計取引回数合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出


PayPay